

マスターシリンダーコンバートキット取り扱い説明書

Parts No.75-503 対応車種 Z1R-I 型

この度は、マスターシリンダーコンバートキットのお買い上げ、誠に有難うございます。

注意；本製品を取り付けし、ご使用になる前に本取り扱い説明書を、必ずお読み下さい。

注意；取り付け作業を行う前に製品に同封されているコーションラベルを、必ずお読み下さい。

注意；各部品の締め付けトルクなどは、装着する車輛のメーカーが発行するサービスマニュアルをご参照下さい。

1; 付属品の確認 写真左上順

- ① アルミクラッシュワッシャー×4個
- ② ブレーキフィッティングアダプター×1個
- ③ マスターシリンダーASSY×1個
- ④ プッシュロッドアダプター×1個
- ⑤ スペーサーワッシャー×2個
- ⑥ マスターシリンダーマウントステー×1個
- ⑦ M6平ワッシャー×1枚
- ⑧ キャップボルト M6 L 20mm×1本
- ⑨ ボタンヘッドボルト M8 L 15mm×2本
- ⑩ バンジョーボルトロング×1本
- ⑪ バンジョーボルトショート×1本
- ⑫ リザーブライディングキャンセルコネクター×1個

2; 取り付ける前に

2A…既に取り付けられているマスターシリンダーを取り外して下さい。**右写真の純正部品は再使用しますので、洗浄して下さい。**

写真左上順

- J1 Rカットカラー×1個
- J2 リンクボス×1個
- J3 Rカットナット×1個
- J4 六角スリーブナット×1個
- J5 六角ロックナット×1個
- J6 マウントボルト×2本

3; コンバートキットの仮組み

3A…⑥ステーの裏面に⑤ワッシャーをセットし、⑨ボルトを使用して③マスターを仮止めて下さい。

3B…③マスターのプッシュロッド用ロックナットを調整範囲いっぱいまでねじ込み、④ロッドを取り付けて下さい。

3C…④ロッドにJ3ナットを仮止めて下さい。

4; 車体への取り付け

4A…フレームのマスターシリンダー固定部分に仮組みしたコンバートキットをセットし、ブレーキペダルにJ2ボスをセットし、J2ボスに④ロッドを通した状態でJ6ボルトを使用して固定して下さい。

4B…ブレーキホースを仮止めます。⑩ボルトショート、①ワッシャー、ブレーキホースバンジョー、①ワッシャー、②アダプターの順にセットし仮止めて下さい。

4C…②アダプターをマスターシリンダーへ仮止めます。⑩ボルトロング、①ワッシャー、②アダプター、①ワッシャー、③マスターの順にセットし仮止めて下さい。

4D…各部ボルトを本締めして下さい。締め忘れがない様に確認して下さい。

4E…マスターシリンダーリザーブタンクを固定します。⑫コネクターをメインハーネスのリザーブライディングシステムのコネクターと差し替えて下さい。

リザーブタンクのホースを適度な長さにカットしてマスターシリンダーへ取り付けて下さい。⑧ボルト、⑦ワッシャー、リザーブタンク、⑥ステーの順にセットし固定して下さい。

注意；この⑫コネクターを使用すると、純正のリザーブライディングシステムがキャンセルされ、ヘッドライトの玉切れ時にタコメーターの警告灯は点灯しなくなります。

注意；ホースが鋭角に折れていると、ブレーキフルードがマスターシリンダーに流れなくなりますのでご注意下さい。

5; ブレーキペダルの角度調整方法

5A…フレームのストッパーボルトを調整し、ブレーキペダルの角度を決定します。J3ナットを回し、ブレーキペダルの遊びを調整し、J4ナットを本締めして下さい。J5ナットを本締めして下さい。

5B…右上のアップ写真のようにJ5ナットから④ロッドの先端が飛び出した状態である事を確認下さい。飛び出していない場合は、④ロッドを伸ばして“5A”の作業を繰り返して下さい。

5C…マスターシリンダーを車体真後ろから覗き、ブレーキプッシュロッドが斜めになっている場合は、“3A”で組み込んだワッシャー部分に適度な厚みのワッシャーを用意して組み込んで調整して下さい。

6; 定期点検箇所

以下の作業を必ず行って下さい。

- ①各部のボルト、ナットの緩みなど
- ②定期的なグリス塗布箇所…ブレーキペダルの支点部分、コネクターボルト部分、フレームのマスターシリンダーマウントボルト部分。
- ③各ブレーキホース固定部分のオイル漏れなど

以上で取り付けは終了です。

ご不明な点は、購入店もしくは、(株)ビーエムシーまでお問合せ下さい。

